

【ICT 活用実践紹介】

【花里小 ○○先生の実践】

教科：児童会（委員会活動）

活用ツール：MetaMoji ClassRoom, ブリタニカ・スクールエディション

類型：B4（表現・作成）、B2（調査活動）

内容：食品ロスについて考えよう

1. 【準備】MetaMoji ClassRoom にブリタニカ百科事典のQRコードを貼り付ける。
2. 【児童】お互いにQRコードを読み取り、ブリタニカ百科事典のサイトにアクセスする。
3. 【児童】「給食」や「食品」というワードを入れて検索する。
4. 【児童】気になる記事や画像、動画を見る。
5. 【児童】調べたことをMetaMoji ClassRoom のノートに書く。スクリーンショットをする。

備考：画像や動画によってはフィルターに引っかかることがあります。



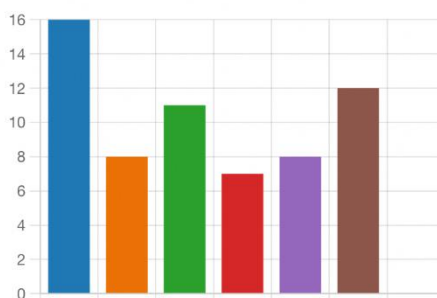
【After☆ICT 活用実践紹介】

ICT 活用通信No.43で紹介した夏休みのタブレット活用の児童の反応です。

2. 夏休みのタブレット学習はどうでしたか？ (0 点数)

詳細

● 楽しかった	16
● 簡単だった	8
● 難しかった	11
● 面倒だった	7
● やりやすい	8
● やりにくい	12
● その他	0



夏休みのタブレット学習は主に NO.43 で紹介したものと NEW ! GIFUweb ラーニングの2つを出しました。「楽しかった」という意見が一番多かったです。記述の意見では「タイピングの練習ができた」「前の学習を振り返ったり、前の学年の復習ができた」など自分の苦手を克服する活用ができた児童がいた。反対に「操作ができなくなった。フリーズした。」などのシステムの不具合や目の健康に関することやりにくさを感じる児童もいた。

【岡田のおもいつ記】

今回の実践では、ブリタニカ・スクールエディションの実践です。ブリタニカスクールエディションは、百科事典・学習コンテンツでデジタル教材の一つです。自分が調べたいことに関する画像や動画などの資料を見ることができます。そう考えると、ネット検索との違いはないような気がしますが、このブリタニカスクールエディションは、小学生の教科に特化した検索ボックスやカテゴリ別のメニューなどで構成されています。児童が課題解決に向けてより深く調べられるような工夫がしてあるのが特徴だと思います。高山市での運用は未定ですが、今後このようなデジタル教材の採用が増えてくるかもしれません。今は、多様性の時代であり、「ねばならない」がどんどんなくなっている時代です。先生も児童も「ねばならない」ではなくて、ICTを活用して「何ができるか」と考え、自分の最適解を見つけられることが大切だと感じます。

今回の出口としては、SDGs と絡め、食について自分たちができることや全校として意識してほしいことを委員会活動として発信できるといいと思います。その発信にも ICT 活用のチャンスがあります。ぜひ児童に「どうやって伝えたい？」と投げかけてみてください。慣れている児童なら、動画、プレゼンなどの選択肢が出るかもしれません。あくまで ICT は手段の一つなので児童が良さを理解して選択できるといいですね。